



2022 年度福生青年会議所
第 133 回通常総会資料

2022 年 12 月 15 日(木)

福生青年会議所 第133回通常総会 式次第

日時：2022年12月15日(木)

19:00~20:30

もくせい会館 3階 会議室

1. 開会宣言

1. 国歌ならびにJCソング斉唱

1. JCI クリッド唱和

1. JCI ミッションならびにJCI ビジョン翔和

1. JC 宣言文朗読ならびに綱領唱和

1. シニア会員、名誉会員、賛助会員、特別会員、入会予定者紹介

1. 理事長挨拶

1. 新入会員入会認証伝達式(ない場合は割愛)

1. 議長選出

1. 議事録作成人および署名人の指名

1. 定足数の確認

1. 新議題の採択

1. 議事

第1号議案 2022年度福生青年会議所 第二次JC基金補正予算書(案)承認の件

第2号議案 2022年度福生青年会議所 第二次収支補正予算書(案)承認の件

第3号議案 2023年度福生青年会議所 理事長所信(案)承認の件

第4号議案 2023年度福生青年会議所 理事メンバー(案)承認の件

第5号議案 福生青年会議所 運営規定変更(案)承認の件

第6号議案 2023年度福生青年会議所組織図(案)承認の件

第7号議案 2023年度福生青年会議所委員会事業方針・事業計画(案)承認の件

第8号議案 2023年度福生青年会議所JC基金予算書(案)承認の件

第9号議案 2023年度福生青年会議所収支予算書(案)承認の件

第10号議案 2023年度福生青年会議所出向会員(案)承認の件

第11号議案 その他

1. バッジ交換

1. 報告事項

1. 連絡要望事項

1. 監事講評

1. 閉会宣言

Fussa JC 133th General Meeting

日時：2022年12月15日(木) 18:30 登録開始 19:00 開会

場所：福生市本町18 TEL：042-551-1535

2022年度福生青年会議所第二次JC基金補正予算書 (案)

収入の部

単位：円

科 目	金 額		摘 要
	第一次補正	第二次補正	
繰越金収入	3,321,210	3,321,210	
シニア会員会費収入	150,000	150,000	2021年度卒業生3名X5万円
新入会員入会金収入	50,000	50,000	新入会員5名X1万円
雑収入			受取利息等
合 計	3,521,210	3,521,210	

支出の部

単位：円

科 目	金 額		摘 要
	第一次補正	第二次補正	
一般会計繰入支出	1,000,000	690,000	
次期繰越金収支差額	2,521,210	2,831,210	
合 計	3,521,210	3,521,210	

繰越金収入の内訳(2021年度補正予算時)

普通預金	残高
西武信用金庫 福生支店	外山 2,321,210
保証金	1,000,000
一般会計通帳より繰り入れ分	
合計	3,321,210

2022年度福生青年会議所第二次収支補正予算書(案)

収入の部

単位：円

科 目	金 額		摘 要		
	第一次補正	第二次補正			
会 費 収 入	1,000,000	1,000,000	100,000	10	正会員
会 費 収 入	250,000	250,000	50,000	5	新入会員
会 費 収 入	0	0	10,000	0	準会員
会 費 収 入	20,000	20,000	10,000	2	特別会員
会 費 収 入	150,000	150,000	10,000	15	賛助会員
シニアクラブ寄付金収入	1,300,000	1,300,000			
シニアクラブ寄付金収入	300,000	300,000			2022年度シニアクラブ寄付金
シニアクラブ寄付金収入	500,000	500,000			45周年事業寄付金
シニアクラブ貸貸収入	500,000	500,000			事務局使用料負担金
雑 収 入	6,000	6,000			受取利息・JCカード手数料等
JC基金繰入金収入	1,000,000	690,000			
繰越金収入	402,058	402,058			2021年度からの繰越金
合 計	4,128,058	3,818,058			

支出の部

単位：円

科 目	金 額		摘 要		
	第一次補正	第二次補正			
J C I 会 費	16,120	16,120	1,612	10	
日 本 J C 会 費	80,000	80,000	5,000	10	他30,000
地 区 協 議 会 会 費	20,000	20,000	1,000	10	他10,000
ブ ロ ッ ク 協 議 会 会 費	70,000	70,000	3,000	10	他40,000
国 際 協 力 基 金	18,250	18,250	1,825	10	
WE BELIVE 購 読 料	30,000	30,000	3,000	10	
日 本 J C 出 向 者 負 担 金	0	0	20,000	0	
東 京 ブ ロ ッ ク 出 向 者 負 担 金	15,750	15,750	3,150	5	
新 入 会 員 日 本 J C 他 会 費	50,000	50,000	10,000	5	
東 京 ブ ロ ッ ク 公 開 討 論 会 積 立 金	8,000	8,000	300	10	他5,000
会 費	10,000	10,000			自然環境アカデミー会費
小 計	318,120	318,120			
事 務 局 賃 料	792,000	792,000	1ヶ月	66,000円	(税込)
通 信 費	250,000	250,000	電 話 ・ 郵 便 ・ ZOOM ・ OneDrive		
物 品 購 入 費	250,000	250,000	名 簿 ・ 備 品 等		
消 耗 品 雑 費	150,000	150,000	コピー用紙・トナー等		
管 理 費	270,000	270,000	電 気 ・ 水 道 ・ HP 管 理 等		
小 計	1,712,000	1,712,000			
渉 外 費	60,000	60,000	3 LOM 合同事業等		(青梅JC主管)
執 行 部 費	30,000	30,000	合同演説会等		
例 会 ・ 事 業 費	1,900,000	1,590,000			
45周年継承委員会	170,000	1,200,000			
総務・研修委員会	200,000	390,000			
小計	1,990,000	1,680,000			
褒 賞 費	80,000	80,000			
慶 弔 費	20,000	20,000			
予 備 費	7,938	7,938			
次 期 繰 越 金					
合 計	4,128,058	3,818,058			

Fussa JC 133th General Meeting

日時：2022年12月15日(木) 18:30 登録開始 19:00 閉会

場所：福生市本町18 TEL: 042-551-1535

理事長所信（案）

福生青年会議所 2023年度

第46代理事長 田村 力

〈はじめに〉

2023年度に福生青年会議所第46代の理事長の職を預からせていただく田村力と申します。この数年間、青年会議所運動において様々な経験を積ませていただき、自分自身に変化がありました。それは地域の事を今まで以上に深く考え、地域のために行動をするようになった事です。福生青年会議所のメンバーにも同様の想いを持ってもらえるように積極的に機会の提供を行い、同じように地域を考える人材を増やしていきます。それが今まで以上に良い地域を作っていく事だと信じて、この1年間を進んで行くことを決心しております。

また、人は明るく楽しそうな場所や組織の周りには自然と集まってくるものだと思います。スローガンに「Let's Enjoy JCI Fussa」を掲げておりますので、若者らしく青年会議所の運動を前向きに、明るく、そして楽しく進めていきます。その際には、青年会議所という組織だけでなく、地域の関係諸団体の皆様とも協力して運動発信を行なっていきます。

先輩諸兄弟をはじめ関係者の皆様により引き継がれてきた歴史ある福生青年会議所の理事長として私が役得を与えられるだけでなく、地域に私たちのパワーを伝えることを決意するとともに、ここに所信を述べさせていただきます。

〈内部の理解と成長〉

福生青年会議所の現役メンバーは新しく加入した人材が多く、地域に対して何が提供できるのか、何を提供したいのかという事が明確になっていない状況です。この点を解決するために内部にもしっかりと目を向けて、青年会議所の運動を理解する事に重点を置いていきます。第3号議案として地域のために運動をしている組織だといふ事（福生青年会議所 理事長所信（案）承認の件）を進めていきます。

そして、何よりも大切な事はメンバーに対する機会の提供をしっかりと行なっていく事です。青年会議所は役職による学び、人との出会いによる学び等の様々な良い機会がありますので、メンバー全員に適切な学びの機会を積極的に提供していきます。

メンバー全員が自分の考えで青年会議所の運動を理解し、地域を想う気持ちを高めていきます。メンバー毎に各地域・各団体とのつながりの深さに違いがありますので、全体力が上げれば地域貢献できる範囲もより広く伝わっていきます。

また、ここ数年は新型コロナウイルスの影響もあり現役メンバーがお互いのことを十分に知ることができていないという現状もあります。メンバー同士が交流できるような機会も積極的に作り、人と組織の結束を更に高めて地域を良くする運動を発信していきます。

〈関係諸団体との連携〉

2市1町の地域には様々な主目的を掲げて、この地域をより良くしていこうと活動している団体が数多くあり、2023年はこれらの関係諸団体と今まで以上につながりを強めていきます。お互いの組織の共通課題として会員数の減少や新型コロナウイルスによる活動内容の変化等の問題が挙げられます。これらの課題に対してお互いが協力をして、相乗効果で活動を盛り上げてより良い地域の実現に向けて前進していきます。

福生青年会議所の運動エリアは福生市、羽村市、瑞穂町の2市1町にまたがりますが、活動の中心が主に福生市となってしまっています。しかし、福生青年会議所がコミットメントすべきは運動エリアの全域です。普段から目線を広げ、福生市だけではなく羽村市、瑞穂町をもっと巻き込んで、広い視点での運動を進めていきます。

また、2023年は東京都全体と近隣の秋川流域にて、大規模且つ高いレベルで地域のために行われる二つの事業があります。同じ青年会議所の仲間が行う事業に福生青年会議所としても積極的に連携して関係性を深めて、大規模な事業がどのように地域のためになるかということ学び、将来的な福生青年会議所の地域貢献の可能性の幅を広げます。

〈青少年の健全な成長を促す〉

子供たちは狭くは地域の将来を担う、広くは日本や世界の将来を担う存在です。その子供たちも新型コロナウイルスの影響により従来よりも自分たちの日々の学びの発表の場が減ってしまいました。そのような子供たちに青年会議所のネットワークと経験を使い、子供たちが明るく楽しく発表を行う事が出来る機会の提供を行います。新型コロナウイルスで暗くなってしまった世の中でも、子供たちには明るく前を向いていけるような気持ちになれる機会を提供します。

また、子供たちの健全な成長のためには心身の鍛錬というものも欠かせません。ただ体を鍛えていればいいのかというところは私はそうは考えません。様々スポーツの界の事例からも体を鍛える事と正しい心を育てる事は別の問題であると考えます。そのために子供たちに正しい心と体の鍛錬が出来るような機会の提供を行い、青少年の健全な成長を促していきます。

青少年の健全な成長に必要な要素は子供たちだけに限ったことではありません。現在は片親であったり、ワンオペレーションでの子育てであったりと親自身が様々な原因で子育てに悩むという事があります。このような親の問題に少しでも寄り添う活動も福生青年会議所として行なっています。

〈グローバルネットワークの再認識〉

現在の福生青年会議所においては、青年会議所として先導すべきグローバルネットワークが置き去りにされている面があります。青年会議所はアメリカが發祥の地であり、世界的にネットワークが構築されています。このような大きな機会を活用しない手はありません。改めて我々が所属している組織の大きさと目指している事の大きさを認識して活動の根幹としていきます。

我々には世界中に仲間がおり、本気で今の世界の問題に対して考えているのです。気候変動、所得の格差、紛争等これからの時代で解決していく課題は、一国だけでは解決できない事が多いです。JCI (Junior Chamber International) という世界的な組織を通してならば、課題に取り組むという事を次の世代のためにも再周知していきます。

また、福生青年会議所の活動エリアには横田基地という国際的な活動を行う事が出来る環境も整っております。身近な場所に国際に触れる事の出来る機会があるのだから、横田基地とも新たな関係性を構築できるように取り組んでいきます。その周りに外国籍の方が大勢住んでいます。言語の壁などにより、地域に溶け込み切れていない等の課題もありますので、その点に対しても福生青年会議所として取り組んでいきます。

〈会員拡大について〉

地域を想う人材が一人でも多くいるという状況は地域にとって間違いなくプラスとなり、よりインパクトのある地域貢献をすることが出来ます。そのためにも、具体的な拡大の対象も再検討します。我々がどのような地域の層に対して積極的にアプローチしていくかという工夫が必要です。地域の他の関係

諸団体のメンバーは元々地域に対する想いが高いですので、青年会議所運動にも共感が得られやすいと考えます。

日本の青年のみならず多くの外国籍の青年もこの地域で生活しています。また、ここ数年で福生青年会議所は女性の拡大には成功していますが、一方で年齢が若いという理由だけで若者へのアプローチも十分ではない側面がありました。拡大の対象を今までの固定概念にはとらわれずに幅の広い視野で取り組んでいき、幅の広い人材拡大を行なっていくことにより、メンバーの価値観も広がり、青年会議所として掴める機会の範囲も広がります。その事が将来の福生青年会議所の活力となっていきますので、未来のために一所懸命に取り組んでいきます。

そして、何より我々の仲間を増やすという気持ちを持って2023年はメンバーで一丸となり、楽しみながら拡大運動に取り組んでまいります！

〈結びとして〉

まずは私が福生青年会議所第46代理事長を拝命する機会をいただけた事に深く感謝を申し上げます。歴史を紡いでくれた先輩諸兄姉や地域の皆様に恥じないように、地域に貢献していく事を第一に考えて1年間を過ごしていくことを決意しております。理事長という責任のある役職ですが、スローガンにもあるように、その中で精一杯Enjoyして、2023年以降のメンバーに活き活きとした背中を見せていきます。

そして福生青年会議所の現役メンバーが、青年会議所運動とは何かを自分自身の言葉で話せるような状態にまで成長できるように促し、何よりメンバー全員が運動自体を楽しめるようなモチベーションとなれるような機会の提供をいたします。

新しい工夫やアイデアを積極的に取り入れ、関係諸団体との連携を強くして、新しいつながりも構築していきます。福生青年会議所がより良く、そして運動エリアの福生市、羽村市、瑞穂町が明るく発展できるように尽力していく所存です。新しい風と新しいエネルギーをこのエリアに巻き起こせるように精一杯楽しんで、努力して参ります。

皆様からの今まで以上のご指導ご鞭撻、ご理解ご協力を承りますことをお願い申し上げ、2023年度の理事長所信とさせていただきます。

2023 年度基本方針

1. メンバー同士の相互理解の実施
1. 青年会議所運動のさらなる理解
1. 地域諸団体との連携強化
1. 青少年の健全な成長のための機会の提供
1. グローバルネットワークの認識と活用
1. メンバー全員で会員拡大

2023 年度スローガン

Let's Enjoy JCI Fussa

Fussa JC 133th General Meeting

日時：2022 年 12 月 15 日(木) 18:30 登録開始 19:00 開会

場所：福生市本町 18 TEL: 042-551-1535

2023年度福生青年会議所 理事メンバー（案）

豊田	裕希	（選挙理事）
秋吉	貢藏	
荻原	萌美	
高崎	雅俊	
田邊	和英	
福谷	裕希	
渡邊	景月	
浜畑	太輔	

理事長 他8名（順不同）

福生青年会議所 運営規定変更(案)

<変更案>

第6条 定款第40条に基づき、青少年育成・研修委員会、国際・渉外委員会及び執行部会議を設置する。
別に必要のある時は、理事会の承認を経て特別委員会を設置することができる。

第8条 (1)委員会の職務分掌は、次の通りとする。

1. 青少年育成・研修委員会

- ① わんぱく相撲西多摩場所の開催。
- ② 青少年育成事業の企画・運営
- ③ 会員交流を図る事業の企画・運営
- ④ 会員の定着を企図する交流事業の企画・運営。
- ⑤ 会員のスキルアップに関わる事業の企画・運営
- ⑥ 専務理事の指揮のもと事務局として務めること。
- ⑦ 事務局の整備、物品・備品の購入・保管・管理に関する事。
- ⑧ 慶弔に関する事。
- ⑨ 新入会員のオリエンテーションに関する事。
- ⑩ 会員の入退会に関する事。
- ⑪ 瑞穂農芸高校担当

2. 国際・渉外委員会

- ① 異文化交流会・記念式典の企画・運営
- ② 広報活動全般の企画・運営・管理。
- ③ 広報誌の製作・編集・発行。
- ④ 日本青年会議所等への事務手続き(会員の入退会手続きを含む)に関する事。
- ⑤ 日本青年会議所はじめ青年会議所関係機関との連絡調整。
- ⑥ HPやSNSを含む福生青年会議所運動の情報発信。
- ⑦ 地域との交流を図る事業の企画・運営。
- ⑧ 福生市、羽村市、瑞穂町渉外担当
- ⑨ 国際関係の運動に関する事全般
- ⑩ LOM内外を問わず会員交流の機会提供に係る企画・運営。

(2)執行部会議の職務分掌は、次の通りとする。

- ① 総会における運営に関する事。
- ② 委員会の実施する事業への助言。
- ③ 委員会の運営状況を把握すること。
- ④ 必要に応じ委員会運営をサポートすること。
- ⑤ 全会員のJC運動に対するモチベーション向上に資すること。
- ⑥ 各種通達事項周知への協力。
- ⑦ 日本青年会議所及び東京ブロックが運営する各種大会への参加動員。
- ⑧ 会員へ上記⑥に関連する必要な情報の連絡及び周知活動。
- ⑨ 事業計画・事業報告・収支予算・決算等の諸会議議案書の保管。
- ⑩ 総会、理事会、例会における議事録、記録の作成、保管、管理に関する事。
- ⑪ 定款諸規定に関する事。
- ⑫ 会員の拡大に関する事全般。

(3)共通の職務は、次の通りとする。

- ① 新入会員の指導・育成に関する事。
- ② 会員拡大に関する情報の収集と活動。
- ③ 委員会の円滑な運営並びに執行部会議との連携を図ること。
- ④ 地域社会との交流、協働を図ること。
- ⑤ 地域行事への積極的な参加をすること。
- ⑥ 会員拡大に向けた運動発信の企画・運営。

<現行>

第6条 定款第40条に基づき、45周年事業・拡大委員会、総務・研修委員会及び執行部会議を設置する。
別に必要のある時は、理事会の承認を経て特別委員会を設置することができる。

第8条 (1)委員会の職務分掌は、次の通りとする。

1. 45周年継承・拡大委員会

- ① 45周年記念事業の企画・運営
- ② 福生七夕まつり担当。
- ③ わんぱく相撲西多摩場所の開催。
- ④ 青少年育成事業の企画・運営
- ⑤ 地域との交流を図る事業の企画・運営。
- ⑥ 会員交流を図る事業の企画・運営
- ⑦ 会員拡大に向けた運動発信の企画・運営。
- ⑧ 会員の拡大に関する事全般。
- ⑨ LOM内外を問わず会員交流の機会提供に係る企画・運営。
- ⑩ 会員の定着を企図する交流事業の企画・運営。
- ⑪ 瑞穂農芸高校担当

2. 総務・研修委員会

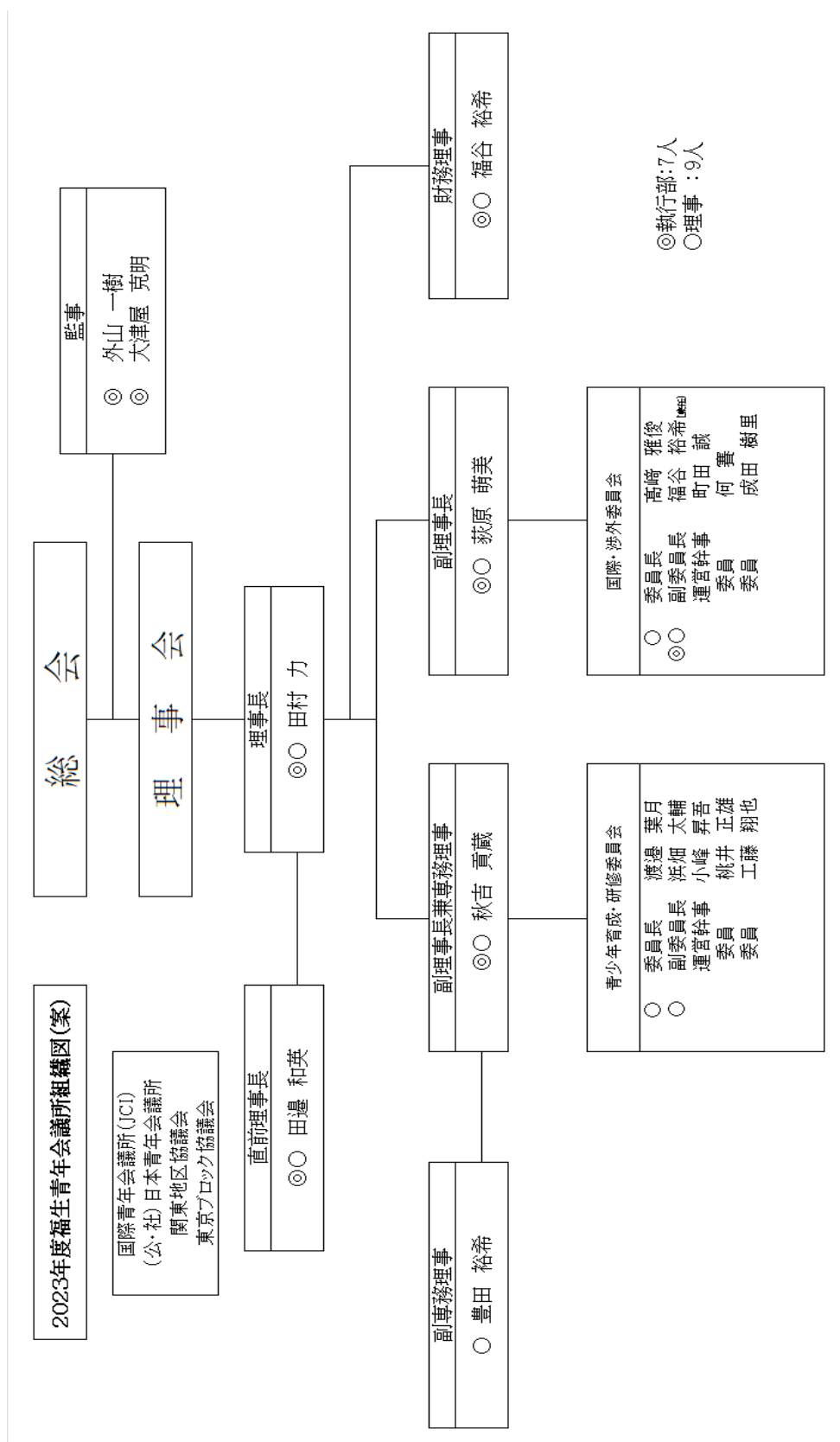
- ① 異文化交流会・記念式典の企画・運営
- ② 会員のスキルアップに関わる事業の企画・運営
- ③ 新入会員のオリエンテーションに関する事。
- ④ 専務理事の指揮のもと事務局として務めること。
- ⑤ 事務局の整備、物品・備品の購入・保管・管理に関する事。
- ⑥ 定款諸規定に関する事。
- ⑦ 広報活動全般の企画・運営・管理。
- ⑧ 広報誌の製作・編集・発行。
- ⑨ 総会、理事会、例会における議事録、記録の作成、保管、管理に関する事。
- ⑩ 慶弔に関する事。
- ⑪ 事業計画・事業報告・収支予算・決算等の諸会議議案書の保管。
- ⑫ 会員の入退会に関する事。
- ⑬ 日本青年会議所等への事務手続き(会員の入退会手続きを含む)に関する事。
- ⑭ 日本青年会議所はじめ青年会議所関係機関との連絡調整。
- ⑮ HPやSNSを含む福生青年会議所運動の情報発信。

(2)執行部会議の職務分掌は、次の通りとする。

- ① 総会における運営に関する事。
- ② 委員会の実施する事業への助言。
- ③ 委員会の運営状況を把握すること。
- ④ 必要に応じ委員会運営をサポートすること。
- ⑤ 全会員のJC運動に対するモチベーション向上に資すること。
- ⑥ 福生市、羽村市、瑞穂町渉外担当
- ⑦ 各種通達事項周知への協力。
- ⑧ 日本青年会議所及び東京ブロックが運営する各種大会への参加動員。
- ⑨ 会員へ上記⑥に関連する必要な情報の連絡及び周知活動。

(3)共通の職務は、次の通りとする。

- ① 新入会員の指導・育成に関する事。
- ② 会員拡大に関する情報の収集と活動。
- ③ 委員会の円滑な運営並びに執行部会議との連携を図ること。
- ④ 地域社会との交流、協働を図ること。
- ⑤ 地域行事への積極的な参加をすること。



青少年育成・研修委員会

事業方針（案）

委員長予定者 渡邊 景月

■事業方針

福生青年会議所 2023 年度のスローガンである、『Let`s Enjoy JCI Fussa』このスローガンに基づき青少年の育成と新入会メンバーへ JCI 内部の仕組みなどを理解する場を設けることでスキルアップに繋がり、明るく楽しい運動ができるよう活動をしていきます。それには青年会議所内の活動以外でもメンバー同士の交流の機会を増やし、メンバーが一丸となって助け合う気持ちを持つことで事業計画から事業実施の効率を上げていきます。また、青少年・保護者・教育関係者の成長に繋がる機会の場を設け、青少年の笑顔が増えること、未来への視野が広がること、希望を持てるよう運営をしていきます。

<内部理解について>

2023 年度、福生青年会議所はメンバー16名でのスタートとなります。その大多数は入会2年未満のメンバーとなっているのが実状です。まずは、入会してからの日数が浅いメンバーに対して青年会議所を知る運動を行っていきます。経験豊富な講師の方を招き、JCI とはどのような団体なのか、基本的なところから学ぶ機会を作り、内部の事を十分に理解する環境を作っていきます。メンバー同士の交流を増やし、全員と話せる機会を適宜設け、時間が合わずなかなか参加出来ていないメンバーへ声を掛け、現役のメンバー全員が楽しいと感じられる環境を作り、今までより一層楽しめるよう福生青年会議所を盛り上げます。

<青少年育成について>

今も昔も様々な事情により子育てに悩む家庭は多く、施設で育つ子供達も多く存在します。時代の変化とともにいろんな問題や悩みを抱えた子供達、またその保護者の皆様へ様々な機会の場を設け、青少年の成長に繋がる事業を行い地域の発展を目指した運動をしていきます。

長年にわたり世界的に問題視されている貧困・虐待・いじめ・不登校・児童犯罪などの問題に目を向け、まずは身近な地域の青少年・保護者・教育関係者などのために専門家による講演や相談をしやすい場を設けます。

また、地域の養護施設などへの奉仕活動をすることにより、どんな環境で育った子供達も将来への視野が広がる事業や、心が豊かになるような事業を企画し未来へ向け地域活性化に繋がる運動をしていきます。

<わんぱく相撲について>

コロナ禍で見送りが続いていたわんぱく相撲でしたが規制も少しずつ緩和され、シニアクラブの先輩諸兄姉や関係諸団体のご協力もあり、2022年度は再び開催されました。

この事業においても子供達の心身の成長に繋がる場であり、今後も継続していきたい事業のひとつです。日本の国技である相撲からは礼節を学び、心身ともに鍛錬ができるとても良い機会です。わんぱく相撲に参加してくれた子供達には勝つ喜びを知り、負ける悔しさを知り、相手への敬意や思いやりの心を育んでもらえるように、2023年度も皆様のご協力のもと開催致します。

<結びとして>

2023年度はメンバー1人1人が青年会議所内部の理解力をあげ、効率的に会議や事業を行える環境を作り、少人数だからこそメンバーの団結力を強くしていくことで、メンバー全員がやりがいのある素晴らしい事業を行える一年にしていきます。

■事業計画

1. LOM内外を問わない会員交流の機会提供に係る企画・運営

1. 会員の定着を企図する交流事業の企画・運営。

1. 会員交流を図る事業の企画・運営

1. 会員のスキルアップに関わる事業の企画・運営

1. 青少年育成事業の企画・運営

1. わんぱく相撲西多摩場所の開催

国際・渉外委員会

事業方針（案）

委員長予定者 高崎 雅俊

■事業方針

2023年度の福生青年会議所のスローガンは『Let's Enjoy JCI Fussa』です。まずは田村理事長の掲げるスローガンを念頭に置き、JC運動においてこれまで以上に楽しみながら考え、楽しみながら取り組みます。

国際・渉外委員会はJCIの1であるInternational（国際的）な運動を行っていくこと、JC運動を通して地域や周囲との連携・関係性の強化をしていく為に渉外の運動を行っていく事を事業方針とします。地域との渉外により、全員での会員拡大に向けての取り組みへと繋げていき、福生青年会議所全体の底上げになる運動を発信していきます。

<賀詞交歓会について>

近年、新型コロナウイルスの影響により地域の方々、各地会員会議所の皆様、シニアクラブの皆様をお招きしての賀詞交歓会の開催を行えておりませんでした。2023年度は関係諸団体にご来場頂き昨年度の活動報告、理事長の所信を皆様にお伝えし、通例として行っていました賀詞交歓会を開催し、45年間先輩諸兄弟が培われてきた福生青年会議所としての歴史と伝統を引き継ぎ、地域の皆様との繋がりを再度認識する場として開催致します。

<渉外について>

新型コロナウイルスの影響により近年希薄になってしまっている、福生、羽村、瑞穂の各市町の地域の方々との交流を行い、各所との関係を固いものにしていきたいと考えています。2市1町の地域の皆様と合同での事業を計画し行う事により、お互いに見知った関係になる事で、相互間での出向や各種イベントの手伝い・スタッフ確保の対応等、可能な範囲内での助力・助言により地域の活性化に繋げていけるよう、関係性の強化を計っていきます。

また、近隣の青年会議所を中心とした各地会員会議所との渉外も行っていきます。2023年は6月にあきる野市でブロック大会が行われ、10月に東京都で全国大会が行われます。当委員会から多くのメンバーを輩出し、関係各所との連携を深めた上で福生青年会議所全体で各大会へ参加させて頂く事業を行います。各大会のセミナーで学んだ事を福生青年会議所全体に落とし込み、意識の向上、仕事に活かせる学びの場として活用します。また、出向したメンバーが出向先で繋がった各地会員会議所の皆様と繋がる事で各所との関係をより強固にしていく礎にする所存です。

関係各所と連携し、新型コロナウイルスの影響により冷え込んでしまっている経済、中止が続いている祭礼等に対し地域を盛り上げていける方法を考え共有し、地域の活性化に繋げていきます。

<グローバルネットワークについて>

2市1町には米軍横田基地があり、グローバルネットワークの観点では国際活動を行いやすい環境であるといえます。しかしながら、このような地域にも関わらず、米軍横田基地の方々や在住外国人の方々との接点は現状では皆無であると言えます。このことから、グローバルネットワークを構築していく上で、今年度は外国人の方々を交えた事業を行います。語学が堪能なメンバーや通訳ボランティアと連携し、日本語学校の生徒の方々や米軍横田基地の方々へ声掛けを行い進めていきます。この活動に地域の方々へも声がけし参加して頂く考えであり、在住外国人の方々や参加された地域の方々との距離が縮まる事で相互にとって安心感や別文化への理解が進む一助になるよう取り組んで参ります。

また、各地域の団体やJCIに興味を持って頂いた方々を各団体へ誘う事が出来れば、より地域と在住外国人や米軍横田基地の方々との関係を強め、地域の活性化に繋がると信じております。

<結びとして>

当委員会の軸は国際と渉外ですが、特に渉外に力を入れる事により、地域の皆様、各地会員会議所の皆様との繋がりを堅固にしていきたいと考えています。その結果としてグローバルネットワークの構築においても、外国人の方々や地域の方々を交える活動も信頼がある上で行

え、外国人の方々と地域の方々が相互間の信頼関係を構築していける事で地域の活性化に繋がって参ります。

当委員会は福生青年会議所全体を巻き込む程、国際・渉外委員会の全員が全力で楽しみながら JCI 運動に尽力する事を委員会の方針として取り組む所存でございます。

先輩諸兄弟並びに関係諸団体の皆様におかれましては、ご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

■事業計画

- 1、賀詞交歓会・記念式典の企画・運営
- 1、広報活動全般の企画・運営・管理。
- 1、広報誌の製作・編集・発行。
- 1、日本青年会議所等への事務手続き（会員の入退会手続きを含む）に関する事。
- 1、日本青年会議所はじめ青年会議所関係機関との連絡調整。
- 1、HP や SNS を含む福生青年会議所運動の情報発信。
- 1、地域との交流を図る事業の企画・運営。
- 1、福生市、羽村市、瑞穂町渉外担当
- 1、国際関係の運動に関する事全般
- 1、その他運営委規定第8条1項2号並びに3項に関する事項

2023年度福生青年会議所 JC基金予算書(案)承認の件

収入の部		金額		摘要
科目	前年度予算額	今年度予算額	単位：円	
繰越金収入	3,321,210	2,521,210		
シニア会員会費収入	150,000	0		2022年度卒業生0名X5万円
新入会員入会金収入	50,000	60,000		新入会員名6分X1万円
雑収入				受取利息等
合計	3,521,210	2,581,210		

支出の部		金額		摘要
科目	前年度予算額	今年度予算額	単位：円	
一般会計繰入支出	1,000,000	0		
次期繰越金収支差額	2,521,210	2,581,210		
合計	3,521,210	2,581,210		

繰越金収入の内訳(2022年度補正予算時)

普通預金		残高
西武信用金庫 福生支店	外山	1,581,210
保証金		1,000,000
一般会計通帳より繰り入れ分		
合計		2,581,210

2023年度福生青年会議所 収支予算書(案)

収入の部

単位：円

科 目	金 額		摘 要		
	前年度予算額	今年度予算額			
会 費 収 入	1,000,000	1,400,000	100,000	14	正会員
会 費 収 入	250,000	300,000	50,000	6	新入会員
会 費 収 入	0	0	10,000	0	準会員
会 費 収 入	20,000	20,000	10,000	2	特別会員
会 費 収 入	150,000	180,000	10,000	18	賛助会員
シニアクラブ寄付金収入	1,300,000	400,000			
(内訳)シニアクラブ寄付金収入	300,000	300,000	2022年度シニアクラブ寄付金		
(内訳)シニアクラブ寄付金収入	500,000	0	45周年事業寄付金		
(内訳)シニアクラブ貸貸収入	500,000	100,000	事務局使用料負担金		
雑 収 入	6,000	5,000	受取利息・J Cカード手数料等		
J C 基 金 繰 入 金 収 入	1,000,000	0			
繰 越 金 収 入	402,058	500,000	2022年度からの繰越金		
合 計	4,128,058	2,805,000			

支出の部

単位：円

科 目	金 額		摘 要		
	前年度予算額	今年度予算額			
J C 会 費	16,120	22,568	1,612	14	
日 本 J C 会 費	80,000	100,000	5,000	14	他30,000
地 区 協 議 会 会 費	20,000	24,000	1,000	14	他10,000
ブ ロ ッ ク 協 議 会 会 費	70,000	82,000	3,000	14	他40,000
国 際 協 力 基 金	18,250	25,550	1,825	14	
WE BELIVE購読料	30,000	42,000	3,000	14	
日 本 J C 出 向 者 負 担 金	0	20,000	20,000	1	
東 京 ブ ロ ッ ク 出 向 者 負 担 金	15,750	15,750	3,150	5	
新 入 会 員 日 本 J C 他 会 費	50,000	50,000	10,000	5	
東 京 ブ ロ ッ ク 公 開 討 論 会 積 立 金	8,000	0			
会 費	10,000	10,000	自然環境アカデミー会費		
小 計	318,120	391,868			
事 務 局 賃 料	792,000	792,000	1ヶ月 66,000円 (税込)		
保 険 料		10,000	火 災 保 険		
通 信 費	250,000	180,000	電 話 ・ 郵 便		
物 品 購 入 費	250,000	230,000	名 簿 ・ 備 品		
消 耗 品 雑 費	150,000	100,000	コピー用紙・トナー		
管 理 費	270,000	250,000	電気・水道・HP・zoom・ワンドライブ管理		
小 計	1,712,000	1,562,000			
渉 外 費	60,000	50,000	3 L O M 合 同 事 業 等		
執 行 部 費	30,000	70,000	合 同 演 説 会 等		
例 会 ・ 事 業 費	1,900,000	600,000			
青 少 年 育 成 ・ 研 修 委 員 会	1,700,000	300,000			
国 際 ・ 渉 外 委 員 会	200,000	300,000			
小 計	1,990,000	720,000			
褒 賞 費	80,000	60,000			
慶 弔 費	20,000	20,000			
予 備 費	7,938	51,132			
次 期 繰 越 金					
合 計	4,128,058	2,805,000			

Fussa JC 133th General Meeting

日時：2022年12月15日(木) 18:30 登録開始 19:00 開会

場所：福生市本町18 TEL: 042-551-1535

2023年度福生青年会議所出向会員(案)

(公・社) 日本青年会議所 地域グループ

2023 サマーコンファレンス特別委員会 委員 高崎 雅俊 君

(公・社) 日本青年会議所 関東地区 東京ブロック協議会

アカデミー研修委員会	委員	成田 樹里 君
アカデミー研修委員会	委員	工藤 翔也 君
アカデミー研修委員会	委員	町田 誠 君
アカデミー研修委員会	委員	小峰 昇吾 君
24LOM連絡会議	議員	秋吉 貢藏 君
事務局	局員	福谷 裕希 君

以降の出向者については理事長一任とする。